

# クリニカルリーダー：レベル目標・一般目標

		レベル I (新人)	レベル II (一人前)	レベル III (中堅)	レベル IV (達人)
レベル目標	看護実践	1. 対象への看護が適確・安全に実践できるために基礎看護の知識・技術・態度を修得する	1. 対象への看護を適確・安全に実践するために基礎看護の知識・技術・態度を深められる	1. 単位における看護実践の役割モデルとなる	1. 看護実践の役割モデルとなり、専門性を発揮する
	管理	2. 組織における単位の役割を理解し、指導を受けながら行動する 3. チーム医療のメンバーとしての役割を理解し、指導を受けながら協働する	2. 組織における単位の役割を理解し行動する 3. チーム医療のメンバーとしての役割と責務を果たす	2. センターの役割を認識し、看護部・単位における組織的な役割を遂行する 3. 単位内での看護チーム間においてリーダーシップを発揮する	2. 看護部における役割を認識しセンターの組織的に広範囲の役割を遂行する 3. センター内で看護の立場からリーダーシップ、コーディネーター役割を発揮する
	教育	4. 専門職者としての技能を高めるための自己の教育的課題を見つける	4. 自己の教育的課題を達成するための教育活動を展開する	4. 単位の教育的活動において指導的役割を果たす	4. 教育的活動における指導的役割を果たす
	研究	5. 看護への科学的追求を行うために研究の基礎を修得する	5. 研究課題に取り組み研究をまとめ発表する	5. 研究論文をクリティークでき、指導的役割と研究活動のリーダーシップをとる	5. 組織的研究活動を実践する
一般目標	看護実践力	1. 看護職員としての自覚と責任ある行動をとる 2. 患者の理解と、患者・家族との良好な人間関係を確立する 3. 適切な自己表現をする 4. 基礎看護技術を修得する 5. 急変時の適切な看護処置を修得する 6. 看取りの看護を修得する 7. 看護過程の展開を修得する 8. 単位の疾患別看護を修得する	1. 自己の看護実践を倫理的視点で振り返る 2. 患者の理解と、患者・家族との良好な人間関係の確立過程を評価する 3. 自己表現を振り返り、評価する 4. 基礎看護技術を個別に応用する 5. 急変時の適切な看護処置を個別に応用する 6. 看取りの看護を個別に応用する 7. 看護過程の展開を個別に応用する 8. 単位の疾患別看護を個別に応用する	1. 倫理的視点での看護実践をメンバーで共有する 2. 患者の理解と、患者・家族との良好な人間関係の確立についての役割モデルとなる 3. 看護における対人関係で適切な表現を指導する 4. 基礎看護技術を理論的根拠を持って指導し、実践モデルとなる 5. 急変時の適切な看護処置を判断し迅速に対処する（部署の資料参照） 6. 患者・家族の希望に沿った看取りの看護を提供する 7. 単位の看護過程の展開を評価する 8. 単位の疾患別看護について理論的根拠を持って指導する	1. 倫理的視点での看護実践を指導する 2. 患者の理解と、患者・家族との複雑な人間関係確立の役割モデルとなる 3. 看護における対人関係で支援的な表現を指導する 5. 急変時の適切な看護処置の判断と迅速な対処を指導する（部署の資料参照） 6. 患者・家族との合意を得た看取りの環境の提供を推進する 7. チーム医療における看護過程の展開を指導する 8. 単位の特殊・専門的・高度な看護実践の役割モデルとなる
	管理能力	1. 地方独立行政法人としての役割を理解する 2. 大阪府立病院機構 急性期・総合医療センターの組織・機能を理解し指導を受けながら行動する 3. 他部門の役割、業務内容を理解する 4. 単位目標達成のための活動に参加する 5. 看護実践における管理的側面での役割を理解し指導を受けながら行動する 6. 感染症発生時の自己の役割を理解する 7. メンバー・リーダーの役割を理解しメンバーの業務を遂行する	1. 地方独立行政法人としての役割を認識し行動する 2. 大阪府立病院機構急性期・総合医療センターの組織・機能を理解し行動する 3. 他部門の役割、業務内容を理解し行動する 4. 単位目標達成のための活動に積極的に参加する 5. 看護実践における管理上の問題について指導・助言を得て対応する 6. 感染症発生時に適切に対応する 7. リーダーの役割を理解し、業務を遂行する	1. 地方独立行政法人としての役割を認識した行動を指導する 2. 大阪府立病院機構急性期・総合医療センターの組織・機能を認識し、単位における役割遂行を指導する 3. 他部門との連絡調整を円滑に遂行する 4. 単位目標達成のための組織的な役割を遂行する 5. 管理的側面の問題発生時に適切な判断、迅速な対応を指導する 6. 感染症発生時に適切な判断、迅速に対処する 7. 単位の看護実践活動の場面でリーダーシップを発揮する	1. 地方独立行政法人としての役割を認識した行動のモデルとなる 2. 大阪府立病院機構 急性期・総合医療センターの組織・機能を認識した役割遂行を推進する 3. 他部門との連絡調整の円滑に推進する 4. 部署目標達成のための組織的な役割の遂行を推進する 5. 管理的側面の問題発生を予測した、防止対策と発生時の迅速な対処方法を指導する 6. 感染症発生時の防止策を考え、実践指導する 7. 看護活動の場でリーダーシップを発揮する
	教育	1. 自己の看護観を表現し看護に対する課題を見つける 2. 生涯にわたる主体的な自己学習の継続の必要性を理解する	1. 計画的に学習し、その成果を看護実践に活用する	1. 人材育成の視点を持ち、学習の成果を単位の教育活動に活かす 2. 能力開発・キャリア開発を主体的に行う	1. 人材育成の視点で単位やセンター内の教育活動を行う 2. 能力開発・キャリア開発を主体的に行う
	研究	1. 研究に関心を持ち自己の研究課題を明確にする	1. 自己の研究課題について取り組む	1. 看護単位の看護研究を含め、研究課題について計画的に遂行する	1. 看護の専門職として研究的視点を持ち指導する